

科目ナンバリング									
授業科目名 ＜英訳＞		国語国文学Ⅰ Japanese Philology and Literature I				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 西田 正宏	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>テーマ：『伊勢物語』の読解と享受</p> <p>古典の中でも最もよく読まれたと思しい『伊勢物語』を題材に、それぞれの章段を詳細に読み解くことからはじめ、物語が各時代にどのように享受され、理解されてきたのか、またそのことはそれぞれの時代の文芸にどのような影響を及ぼしたのかなどについて、具体的に検討することにしたい。</p>									
【到達目標】									
古典を時代に即して考え、古典を古典の注釈で理解することを目標とする。									
【授業計画と内容】									
<p>基本的に以下の内容について講義する。順序や取り上げる章段については、学会の動向や担当者の関心によって変わることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ガイダンス 評価についてなど 2、『伊勢物語』概説 3、初段とその享受 仮名草子から西鶴へ 4、初段とその享受 仮名草子から西鶴へ 5、東下り章段をよむ 6、東下り章段をよむ 7、「東下りはなかった」という解釈をめぐって 8、十四段と嵯峨本の挿絵 9、二十三段をよむ 10、二十三段とその享受 11、上田秋成『癩癪談』の世界 12、四十九段の解釈をめぐる冒険 13、「嵯峨本伊勢物語」をめぐって 14、謡曲と『伊勢物語』 15、試験 16、フィードバック 									
【履修要件】									
特になし									
----- 国語国文学Ⅰ(2)へ続く -----									

国語国文学Ⅰ(2)

【成績評価の方法・観点】

試験を予定しているが、加えてレポートを課す可能性もある。詳細は初回のガイダンスで発表する。

【教科書】

使用しない
プリントを配布する。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

前回までの講義内容について、プリントやノートを見て振り返っておく。

【その他（オフィスアワー等）】

【主要授業科目（学部・学科名）】